

参加
無料

通算
第7回

徹底討論!

新しい日本酪農を求めて!

— 生産調整・EPA時代の将来展望 —

主催:酪農学園ミルク産業活性化推進会議 連続公開シンポジウム実行委員会 共催:NPO法人グリーンテクノバンク

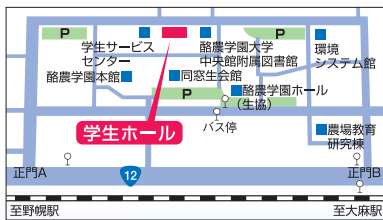
開催趣旨

昨年3月から始まった牛乳生産調整、そして、年末のEPA(経済連携協定)交渉開始の問題など、日本酪農にはかなり厳しい状況が続いていますが、今こそ、我が国の酪農が本当の意味で強い酪農になるために、英知を結集しなければなりません。そこで、2回にわたり、それぞれの立場(酪農家・農協・企業・行政・教育研究機関)の人たちから、現在の問題を述べていただき、新しい日本酪農を作ってゆくための課題を探ることが、本シンポジウムの目的です。なお、ここで明らかになった課題の克服方策については、来年度も引き続き、課題毎に議論をしてゆく予定です。

第1回目(通算第7回目)

2007年
日時/ **2月20日(火)**
14:00~17:00

場所/ 酪農学園大学 学生ホール



「生産現場からの課題を探る」

講演

① 問題提起

酪農学園大学 荒木 和秋

② 酪農の生産現場から

興部町 ノースブレイン・ファーム 大黒 宏

③ 酪農の生産現場から

豊頃町 Jリード 井下 英透

④ 酪農の生産現場から

足寄町 放牧研究会 吉川 友二

⑤ 生産支援組織から

北農中央会 常務理事 永井 則夫

○ 総合討論 座長 干場信司・永幡 肇 (酪農学園大学)

第2回目(通算第8回目)

日時:2007年3月20日(火)14:00~17:00
場所:エルプラザ・男女共同参画センター・ホール

「加工・流通と研究のサイドからの課題を探る」

講演

- ① 企業から 森永乳業
 - ② 農家における加工・販売 田中義剛(花畑牧場)
 - ③ 行政のサイドから 竹林 孝(北海道庁農政部 食の安全推進局長)
 - ④ 研究サイドから 岡本全弘(酪農学園大学)
 - ⑤ 問題点の整理 干場信司(酪農学園大学)
- 総合討論 座長:荒木和秋・細川允史(酪農学園大学)

参加申し込み・お問い合わせ

FAX 011-387-5848

E-mail milkcom@rakuno.ac.jp

酪農学園ミルク産業活性化推進会議
連続公開シンポジウム実行委員会

第1回目(通算第7回目)
の参加申し込みは、
2月15日までは、

